環境建築デザイン学科

「次世代につながる建築を」強い矜持で設計図を描く。

Point 1
幅広い「環境建築デザイン」から見つける得意分野

建築計画・設計、造園・ランドスケープ、都市・地域計画、建築史・空間論、環境工学、建築構造・安全防災など、広範な分野を学べます。

Point 2
実践形式で高める、イメージを形にする力

実際の現場を想定した演習科目では、複雑な条件や要求を一つの空間・イメージにまとめる訓練を行います。

Point 3
「環境学」という視座から創造する建築・都市の未来

環境生態学、環境政策・計画学、生物資源管理学と共生した学びから、これからの生活空間・地域環境を追求します。

◆学びの流れ

公式サイト学科ページはこちら

1回生
幅広い「環境建築デザイン」から見つける得意分野

建築計画・設計、ランドスケープ、都市・地域計画、建築史、理論、環境工学、建築構造など広範な分野の基礎を学びます。

- ◆イメージ表現法
- ◆設計基礎演習
- ◆環境建築デザイン概論
- ◆地域環境計画
- ◆建築一般構造
- ◆構造計画
- ◆建築数学・物理

科目 PICK UP

イメージ表現法

デザイン行為の原動力となるイマジネーションやアイディアを整理し、そのイメージを2次元および3次元で表現する力を養うことをねらいとしています。

設計基礎演習

この演習では、3次元の立体である建築を2次元の平面に表現する方法として考案されてきた数々の作図方法の一端を学びます。また、2次元の図と模型を用い、建築をプレゼンテーションする方法についても学びます。

2回生
実践形式で高める設計力

設計演習では実際の建築を想像した実習を行い、複雑な条件や要求をひとつの空間、建築にまとめる訓練を行います。また、講義ではそのために必要な知識を学びます。

- ◆設計演習Ⅰ
- ◆設計演習Ⅱ
- ◆CAD演習Ⅰ
- ◆景観計画
- ◆ランドスケープデザイン
- ◆西洋建築思潮史
- ◆内部空間論
- ◆環境造形論
- ◆構造力学Ⅰ
- ◆建築環境工学
- ◆建築法規

3回生
「環境学」という視座から創造する建築・都市

環境建築デザインの幅広い課題に関する演習と講義を通じて、課題の分析・解決・提案、及びそれらをデザインに表現する能力を身につけることを目標とします。

- ◆設計演習Ⅲ
- ◆設計演習Ⅳ
- ◆CAD演習Ⅱ
- ◆環境建築デザイン演習
- ◆サスティナブルデザイン論
- ◆環境職能論
- ◆アジア建築史
- ◆環境技術史
- ◆日本建築史
- ◆構造力学Ⅱ
- ◆建築環境工学演習
- ◆構造材料実験
- ◆環境技術史
- ◆環境設備

4回生
専門性を高め実践力、創造力を育む

「環境」、「建築」、「デザイン」、「地域」などをキーワードとして、各自が取り組むべき課題を設定して、研究・設計・制作を進めます。卒業研究では「通年論文」、「通年設計」、「前期論文・後期設計」のいずれかの形態を選択します。

- ◆卒業研究・卒業制作Ⅰ・Ⅱ

Student's VOICE

環境科学部 環境建築デザイン学科 4回生
林 洸宇さん
| 滋賀県立守山高等学校 出身

琵琶湖近くの広いキャンパスと、自然環境の面からも建築を学べる点に惹かれ、この大学を選びました。1回生では設計のための表現力などを学び、3回生ではサステナブルデザインの役割や可能性を学びました。現在は、竹を素材とした構造デザインの研究に取り組んでいます。これからも持続可能な建築の可能性を広げていくのが目標です。

学びの様子を CHECK! ►►

◆時間割モデル（2回生 後期）

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1		中国語ⅡB（中級コース）			
2	生命・人間・倫理	環境技術史	英語ⅢB（充実コース）	建築環境工学	環境造形論
3		設計演習Ⅱ	内部空間論		英語ⅣB（展開コース）
4	空間デザイン			CAD演習Ⅰ	
5					建築デジタルデザイン基礎

林さんのCOMMENT
独学では習得が難しいCADソフトを演習形式で教わることができ、その後3Dや図面の作成に役立ちました。

OB・OG MESSAGE

環境建築デザイン学科 2019年度卒業
環境科学研究科 環境計画学専攻 2021年度修了
川上 滝登さん
| 太陽工業株式会社 建築設計部 東日本設計1課

この学科では、実際にモノづくりを体験できるプロジェクトが多く、ゼロから建築を築き上げる楽しさを経験できるところが魅力です。所属していた研究室では、アイデアの提案から設計、施工計画、材料加工、施工、運営すべてを一貫して行うプロジェクトに多数参加することができました。自由に発想し、表現することを大切にしながら学べる環境は、この学科の特長であり、現在の仕事の発想力にもつながっています。

川上さんの「今」

学生時代に在籍していた研究室で「竹の会所」を知り、その柔らかい空間の心地良さに魅了され、世界の膜構造建築物を手掛けるこの会社に入社しました。膜屋根が安全かつ美しく建設されるための構造計算とディテールの検討を行っています。

Research Activity

研究室での幅広い学び

持続可能な都市、地域を創生するために、景観、防災、資源、エネルギーなど
広い視野から環境デザインを学びます。

地域に根ざしたサスティナブルデザインの研究と実践

芦澤 竜一 教授

地球環境や社会問題など、現代を取り巻く多様な問題に対して、建築デザインを通じて解決方法を探究する研究室です。地域から都市、滋賀から海外まで幅広いフィールドを対象に現地調査を行い、各地の課題を発見し、建築空間として具現化する中で解決を試みます。また、建築に限らず、生態学や環境学などの他分野と連携し、時代に即した新たな環境・建築の構築方法を研究しています。いくつかの研究テーマに分かれたゼミ形式で、複数のプロジェクトに取り組みながら、研究と設計を並行して行い、実践的な建築デザイン力の向上を図っています。

都市と建築の多様性を学ぶ

ヒメネス ベルデホ ホアン ラモン 准教授

日本だけでなく、世界に目を向けて、さまざまな都市や文化から多くのことを学んでいきましょう。都市のデザインとその未来を考えるためには、まず現在の都市の姿を深く観察し、理解することが大切です。そのためには、過去から現在に至るまでの都市の変化や発展の歴史、環境との関わり、伝統建築と現代建築の特徴などを幅広く考察する必要があります。世界中の都市には、それぞれ独自の歴史と文化的背景が存在しており、そこから得られる知見は非常に豊かです。異なる時代や文化に応じた都市のあり方や建築の多様性について、一緒に探究し、未来の都市のあり方を考えていきましょう。

サスティナブルな建築構造デザインを追求

永井 拓生 講師

現在、世界における化石資源使用、CO_2排出、産業廃棄物のおよそ40%が土木・建設産業によるものです。したがって、温暖化や環境破壊を食い止めるためには建設産業の変革は避けては通れない課題なのです。私達の研究室では「植物素材」と「軽量構造」の2つのコンセプトを軸に、環境負荷をより小さく、安全性とデザイン性に優れた「サスティナブル構造デザイン」を研究しています。植物は限られたエネルギーと養分をうまく使った「最適デザイン」のお手本です。自然に学んだ美しい建築構造を一緒に考えましょう。

近現代の歴史的建築物を調査し、保存活用の方法論を探る。

玉田 浩之 准教授

近年、近現代建築物の歴史的価値や文化的価値が理解されず、解体される事例が増えています。建物の価値を理解し、現状に合わせて活用していくことができれば、歴史的環境を豊かに育んでいくことができるはずです。本研究室では、歴史的建築物を保存しつつ、現代社会に適合させて再利用する「アダプティブリユース」の研究を行っています。近現代建築物の歴史研究や現地調査を行いながら、その魅力や価値を再発見し、それらの知見をもとに、保存と活用を両立させるための手法や考え方を探求しています。

人類は世界との繋がりを「たてる」動物だ。

西澤 俊理 准教授

ひとたび湖に出れば、手足のように舟や仕掛けを操って、潮や魚の動きまで感覚する漁師たちの身体に息を呑みます。また東南アジアの山岳を訪れれば、人と牛の身体が渾然一体となって数千の段畑を岩肌に刻んでいく、人間の想像力に圧倒されます。それら1つ1つに、空間や建築という人類の願いがある。人は意識や言葉を用いて世界から自律しつつ、今度は物語や道具を「つくる」ことで世界との繋がりを「たてる」稀有な動物です。西澤研究室では世界中に潜在している等身大の身体と空間を観察し、「たてる」という人類独自の知性を探究します。

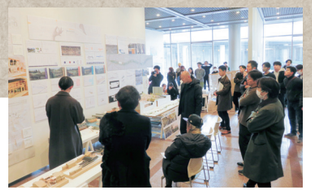
人と環境をつなぐ快適な建築の仕組み

鄭 新源 講師

建築は、社会が求める様々な価値の中で総合的に評価されるものですが、その中でも人間が生活する環境として快適な空間づくりを目標に、光・音・熱・空気など建築の物理要素と人間との関係を明らかにする研究を行っています。実験等による心理評価・行動と環境刺激・居住環境情報との関係を構造化する基礎的な内容から、住宅の温熱快適性、オフィスの知的生産性、学校教室の学習効率等、建築空間に対する調査・評価を行い、快適な建築空間の作り方と使い方を提案します。

特徴的な専門科目

合同講評会



設計演習ⅠからⅣで建築造形の基本、実践的な設計につなげる設計過程、そしてより高度な計画・デザイン手法を身につけ、総合的な提案力を学び、合同講評会にて発表を行います。

木匠塾

「木匠塾」は、地域の課題を、木によるものづくりで解決することを目指した科目です。地域との関わりを重視し、設計から制作までを学生自身が主体的に行う、本学科の特徴的な科目の1つです。

卒業論文・制作テーマ例

- ◆琵琶湖自然共生型社会の環境整備に関する基礎的研究
- ◆空間のリラクゼーション効果を高める開口部の色温度に関する研究
- ◆湖北町尾上集落の空間構造変化と生活像の変容に関する研究
- ◆産業遺産の保存・活用に関する考察
- ◆地域特性を考慮した廃校再生手法の研究
- ◆自然界にみられる形態をもとにした建築設計手法に関する考察

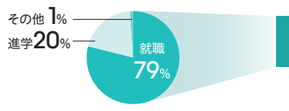
資格一覧※1

- ◆一級建築士受験資格
- ◆木造建築士受験資格
- ◆施工管理技士資格※2
- ◆社会福祉主事任用資格
- ◆二級建築士受験資格

※1 資格の取得には、大学が定める所定の科目の履修と単位修得が求められます。
※2 受験資格認定対象者は「基礎数学Ⅰ」、「基礎数学Ⅱ」、「建築数学・物理」の中から2単位以上履修した者。

進路状況

就職率・進学率　2024年度学部卒業生



業種別就職状況　2024年度学部卒業生

主な就職先　2022～2024年度学部卒業生

【企業】
- ◆(株)一条工務店
- ◆(株)イトーキ
- ◆ウッドホーム(株)
- ◆(株)大林組
- ◆(株)オカムラ
- ◆オムロンフィールドエンジニアリング(株)
- ◆鹿島建設(株)
- ◆(株)関電エネルギーソリューション
- ◆(株)木の家専門店谷口工務店
- ◆住友林業(株)
- ◆積水ハウス(株)
- ◆大東建託(株)
- ◆大和ハウス工業(株)
- ◆タカラスタンダード(株)
- ◆(株)竹中工務店
- ◆タマホーム(株)
- ◆東建コーポレーション(株)
- ◆トヨタホーム(株)
- ◆(株)長谷工コーポレーション
- ◆不二サッシ(株)
- ◆ミサワホーム(株)

【行政機関】
- ◆滋賀県
- ◆大阪市
- ◆大津市
- ◆京都府

主な進学先　2022～2024年度

- ◆滋賀県立大学大学院
- ◆大阪公立大学大学院
- ◆京都工芸繊維大学大学院
- ◆京都市立芸術大学大学院
- ◆京都大学大学院
- ◆京都府立大学大学院
- ◆千葉大学大学院
- ◆横浜国立大学大学院